

はじめに

富士通では、当社の歴史を残すため、『富士通アーカイブズ』という活動を行っております。この活動の一環として皆様に富士通についてもっと知っていただきたいと考え、隔号で富士通についてのあれこれをご紹介させていただいております。

第十回目は、富士通のコンピュータ事業の中心的な役割を果たした池田敏雄専務の足跡を受け継がれてきた言葉と共にご紹介いたします。

1. 富士通コンピュータの生みの親 池田敏雄 専務

1950年代は、日本経済が戦後復興期から技術革新、新産業の新たな成長段階へと転換しようとしていました。1952年（昭和27年）には日本電信電話公社が誕生、1953年（昭和28年）にはNHKがテレビ放送を開始、また、1955年（昭和30年）には電気冷蔵庫、電気洗濯機、テレビが豊かさや憧れの象徴として三種の神器と言われ、人々の暮らしが大きく変わろうとする時でした。

池田はコンピュータの国産化を強力に推し進め、1954年（昭和29年）に日本初の実用リレー式自動計算機FACOM100を完成させました。その後も、1956年（昭和31年）には富士通初の商用機であるリレー式科学用計算機FACOM128A、1974年（昭和49年）には国際互換機Mシリーズを完成させるなど、富士通のコンピュータ事業の発展に大きく貢献し、富士通コンピュータの生みの親と言われるようになりました。



池田敏雄専務



湯川秀樹博士(右から三人目)に
FACOM100を説明

2. ほんとうに感動する人間、感動することを知る人間になってほしい

早くからコンピュータ、そして通信との融合により国家的なインフラとなることの可能性を冷静に見極め、本質を突き詰めるためにはどのような苦労も厭わない池田は、自らの体験から創造性について、成長の過程にあった当時の富士通社員に向けてこのような言葉を遺しています。

「創造といい、進歩というが、これは、我々自身を変えていくところからはじまる。（中略）みずからの革新を強烈に行っている人間でなかったら、これを外に要求できるはずがない。我々企業人はみずからの考えをどんどん新しくしていかなくては、おいついていけないんですよ、この進歩の速い社会では。そういう外的な要請が現にあるんですね。これはぼくは非常に大事な事なんだと思うんですよ。そしてさらにいえば、自身の革新というものを、外からの要請でやるのではなく、自分の内なるものから行うようにならなければいけないと思う。」（「富士通ニュース」160号 1970年5月号より）

「単に模倣的で、あそこはこういうことをやっているらしいから、これはいいらしいとまねをするのは、私は屈辱的だと思いますよ。むしろほんとうに震えるほどのすばらしいアイデアだとか、ほんとうにいいことに感動したときには、無条件に取っ組みせたいという気があるんです。（中略）「お前は創造性豊かになれ」というよりも、ほんとうに感動する人間、感動することを知る人間になってほしいということなんです。感動することを知ったら、その次にはなにかしらを生み出そうという力が自然にわいてくると思うんですよ。」（（財）情報処理教育研修助成財団「FINIPED」3号 1974年4月より）

今も昔も普遍的な一人ひとりの「感動する心」は、イノベーションを生み出す大きな原動力になるはずですよ。

3. エピソード

コンピュータ開発にかけた情熱を感じさせるこんなエピソードがありました。

あるとき、新しいマシンを試作中に工場で火災が発生した。設計図面が焼けたら一からやり直しになると考えた部下が、火の中に飛び込んで運びだそうとしたとき、火災現場に駆け付けた池田が「図面ならおれの頭の中にある。あぶないから近寄るな！」と叫んだ。事実、池田は図面を復元したという。（「ともかくやってみろ」小林大祐著より）

FACOM100は、自己検査機能を持たせたとはいえ、まだ誤作動が少なくなく、だからこそ池田は断固商品化を拒み通したのである。「誤作動を見逃すような構造のコンピュータは、コンピュータではない」これが池田の持論で、この最も高い壁を突破するのに苦しみ抜いていた。（「日本コンピュータの黎明」田原総一郎著より）

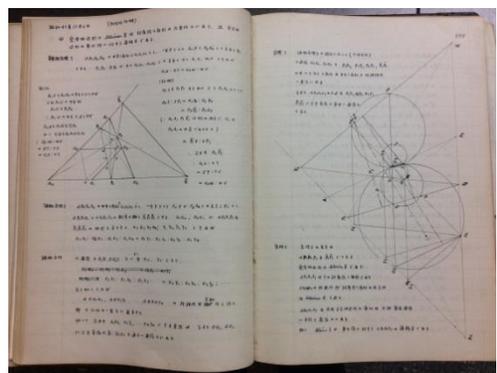
4. 池田記念室

池田は、卓越した指導力でFACOMを大きく飛躍させると共に、日本のコンピュータ史にも多くの足跡を残しました。その功績を記念して、1976年（昭和51年）、富士通沼津工場内に池田記念室を開設し、コンピュータ黎明期の歴史や池田敏雄の思い出の品の他、世界最古級の稼働するコンピュータFACOM128Bなどを展示しています。

また、沼津工場内には歴史施設の他にも、Akisai農場やAR見学施設などもありますので、ご見学の機会がございましたら、弊社担当営業までお申しつけください。



池田記念室



趣味の数学ノート

『富士通アーカイブズ』の見学をご希望される場合は、営業までお問い合わせください。